

平成21年度全国大豆フォーラム 「大豆の単収向上に向けた取組み」開催要領

1. 開催趣旨

わが国の大豆は、重要な転作作物であることから、水田での作付面積が拡大してきたものの、転作の面積に左右され伸び悩んでいる。また、近年、大豆の単収は、気象の影響や地力の低下等により変動するとともに伸び悩んでおり、実需者より安定的な生産が求められている。

食料自給率向上の観点から、大豆の生産量の増大が求められているが、作付面積の拡大とともに低迷する単収の向上が重要となっている。

このことから、大豆の単収向上のための課題及びそれを克服する技術等を提示することにより、現場における単収向上の取組みの推進に寄与する。

2. 主催

社団法人全国農業改良普及支援協会

3. 開催日時

平成22年2月24日（水） 13:15～17:00

4. 開催場所：アルカディア市ヶ谷（私学会館） 穂高の間

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25

TEL:03(3261)9921(代)

地図・交通案内については、次のサイトをご参照下さい。

<http://www.arcadia-jp.org/access.htm>

5. 内容

開 会・主催者あいさつ（13:15-13:30）

◇わが国の大豆栽培における単収の現状と推移（13:30-13:50）

（説明：農林水産省生産流通振興課担当官）

- ① 全国、地域別の大豆栽培における単収の推移
- ② 優良事例（豆類共励会）における単収の推移と栽培技術、営農形態との関係

◇わが国の大豆栽培における単収向上のための課題とその研究動向（13:50-14:40）

（独）農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター
大豆生産安定研究チーム長 島田 信二氏

- ① 海外との比較と我が国における単収向上における課題

② ほ場における大豆300A技術及び地下水位制御技術の導入効果

休憩（14:40-14:55）

◇大豆の単収向上のための栽培技術について（14:55-16:25）

① 大豆栽培における地力維持について

（独）農業・食品産業技術総合研究機構 東北農業研究センター
東北水田輪作研究チーム主任研究員 西田 瑞彦氏

② 土壌肥沃度の維持のための緑肥導入について

富山県農林水産総合技術センター農業研究所
土壌・環境保全課長 廣川 智子氏

③ 大豆種子の出芽向上のための種子調湿技術について

（独）農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター
大豆生産安定研究チーム主任研究員 国立 卓生氏

◇大豆の単収向上に向けた栽培技術を導入するための補助事業について

（16:25-16:45）

ー平成22年度予算の紹介ー（説明：農林水産省生産流通振興課担当官）

◇質疑応答（16:45-17:00）

閉 会（17:00）

6. 参集範囲

都道府県行政・普及関係者、試験研究機関、JA関係者、農業資機材メーカー、生産者、
農林水産省等

7. その他

①フォーラム会場の収容人数の関係もあり、申込みは先着100名様に限らせていただきます。別紙の「出席申込書」をご利用いただき、FAXまたは電子メールでお願いします。

②問い合わせ先 社団法人全国農業改良普及支援協会 担当：山田
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 三会堂ビル7F
TEL:03 (5561) 9562 FAX:03 (5561) 9569
E-mail: daizu@jadea.jp

別 紙

「平成21年度全国大豆フォーラム」出席申込書

都道府県名等：()

氏 名	所 属	職 名

備考欄

--

- ① 本出席申込書は、平成22年2月19日（金）までに、下記あて FAX 又は郵送、電子メールにてお願いします。
- ② 会場の収容人数の関係により、参加者は先着100名様とさせていただきます。
- ③ お申込先 FAX：03-5561-9569
(送信先：全国農業改良普及支援協会 山田)
〒107-0052 東京都港区赤坂1-9-13 (三会堂ビル 7階)
電子メール；daizu@jadea.jp

【送信者】所属・職名

氏 名：

電話番号：

F A X：

*申込み後の連絡が必要な時もありますので、送信者の連絡先を必ず明記下さいますようお願い申し上げます。